



あらゆる下地に高耐久の視認表示

- 公共施設
 - 商業施設
 - 介護施設
 - 鉄道
 - 住宅
 - 鉄道車両等
- 階段・通路・段差・スロープに

特 長

- 航空機メーカー基準適合 (ASTME662発煙性試験)
- 鉄道車両用材料燃焼試験: 判定 不燃
- 耐候性試験: 変色・変化なし (JIS B 7753ウェザーマーター準拠)
- 剥がれにくく凹凸部にも施工可能 接着力: タイル平均 2.6N/mm² (付着強さ試験 JIS A 6909準拠)
- 高い耐摩耗性 摩耗減量は大理石と同レベル (テーバー磨耗試験 JIS K 7204準拠)
- 石・タイル・金属・木材・樹脂等の様々な材質に接着

本製品は下地処理なしでは施工できません。用途に応じて適切な下地処理をおこなって下さい。

◆注意事項

- ◇本製品はイソシアネートを含有しており皮膚等に刺激を与える可能性があります。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように、使い捨て手袋、保護メガネなどを御使用下さい。
- ◇屋外の場合5℃以下(施工開始から終了まで)になる時や、12時間以内に降雨が予想される時は使用しないで下さい。
- ◇5分以上放置しますと材料がノズルの中で硬化してしまいます。なるべく塗布作業を中断しないで下さい。
- ◇冬場カートリッジが冷えてしまっている場合は押し出し難い場合があります。カートリッジをカイロ等で温めると押し出しやすくなります。
- ◇新しいノズルを装着した時は、最初に出てくる5cmくらいの材料は混合確認のため捨てて下さい。
- ◇お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ◇保管場所は直射日光を避け、常温で寝かした状態で保管して下さい。
- ◇硬化時間、施工可能面積は施工条件、素材、気象条件などにより多少異なります。特に冬場は乾燥硬化時間が夏場の倍以上かかる場合があります。
- ◇環境、対象材質、表面状態により接着力が変わってきますので出来れば小さな場所でテスト施工を行うことをお勧めします。
下地が石材・コンクリートなどの場合は十分に乾燥して水分を含んでいないことを確認して下さい。
少しでも水分を含んでいると、接着不良、硬化不良の原因となる可能性があります。
- ◇施工条件・内容は弊社の管理外ですので製品の品質に因らない不具合については責任を負いかねますので、御了承いただきますようお願い致します。

◆救急措置

- ◇目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ◇誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ◇皮膚に付着した場合にはアルコールや多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けて下さい。

製品ご使用に当たっての免責事項

本製品は、高耐久性視認製品として十分満足しうる品質ですが、正しい施工がなされてはじめて耐久性やその他の諸機能が発揮されるものです。
本製品を使用し不具合が生じた場合は、次の免責事項をふまえた上でご相談ください。

- 1)天変地異、異常気象に起因する事故。
- 2)建物の構造上の欠陥、躯体素地に起因する事故。
- 3)当該施工部位以外の発生事故、弊社材料以外に起因する事故。
- 4)引渡し後の施主及び第三者による、保守・改装等に起因する事故。
- 5)大気汚染、付着物による汚染、引っ掻き等の物理的原因に起因する事故。
- 6)その他不可抗力と認められる事故。

下地処理・用途別推奨施工方法

下地処理の3ステップ

①清掃

既設下地にテープ跡や汚れ等があれば取り除き洗浄し、施工面を完全に乾燥させて下さい。
(施工表面が濡れていたり、下地に水分が含まれている場合などは施工できません)

②研磨

布やすりやベルトサンダー等を用いて、施工表面を目粗しします。
(目粗しすることで施工表面が凹凸になり表面積も増え、密着力が増します)

③脱脂

施工面の汚れ/粉塵/油分/ワックス/水分/ホコリを取り除きアルコールで 表面をきれいな状態にします。
(マスキングの工程のあとに脱脂してもかまいません。 終わりましたらプライマーや材料塗布に移して下さい)

プライマーについて

当社専用プライマーをご使用ください

Tプライマー:完全無溶剤型(臭いがNGの場所での施工に)

MSプライマー:万能型

プライマー塗布方法

- プライマー少量をウェス等に付けて、限りなく薄く延ばしながら塗りつけて行きます。10mlで約2㎡塗布可能です。(非多孔質の場合)
* 材質によっては塗布面が濡れ色になります。
- 塗布後、数分経過すれば材料を塗布出来ます。

下地調整の留意点

- 塗布面の汚れ、油脂分をアルコール等で脱脂します。汚れ、油分が激しい場合は前もって業務用洗剤を用いて洗浄を行って下さい。
- ワックスが塗られている場合は剥離して下さい。
- 塗布面は完全乾燥させて下さい。少しでも水分が残っていると硬化不良の原因となりますので中1日以上乾燥させるか、送風機等を利用して完全乾燥させて下さい。

公共施設や商業施設、駅などは **②研磨** において下記どちらかの加工をして下さい。

①溝切加工

ダイヤモンドカッターで溝数本入れ、表面をベルトサンダーにて荒らす。
掘った溝がアンカーとなり重歩行でも剥がれにくくなる。

(下地処理状況と黄色で施工した場合のイメージ)



②埋込加工

切削機械にて施工幅に合わせて溝を掘る(深さ2-3mm)。厚みはフラットに近くなり、
滑り止めよりは視認効果に重点。剥がれることはほとんどない。 駅階段に多い工法

(下地処理状況と黄色で施工した場合のイメージ)



施工ラインの厚みについて

使用するマスキングテープによって施工ラインの厚さを変えることができます。
市販のマスキングテープで0.3mm厚 専用テープにて1mm厚が可能です。

施工ラインの幅について

幅は、基本的には20mm幅前後を推奨しております。40mm幅以上では硬化時間の関係から施工が難しくなる場合があります。
また広幅にすることによって防滑性能が低下します。下地と本製品との段差も防滑性能の一部です。
50mm幅程度で施工される場合は20mm幅ラインを2本(10mm程度あけて)施工することを推奨致します。

* 表紙 階段施工写真参照(2本ラインにて施工)

事前に準備するもの

- ・カートリッジ本体、カートリッジガン(手動/電動)、混合ノズル、ゴムべら、当社推奨プライマー
- ・下地処理:スクレーパー、ベルトサンダー、ダイヤモンドカッター、切削機械、エタノール、清掃道具、マスキングテープ
- ・乾燥硬化:ヒートガン、ヒーター、その他必要な工具
- ・保護資材:立入禁止資材、安全対策資材 等

ハード取扱説明書

下地処理 → マスキング → プライマー処理 → 材料塗布 → 乾燥硬化 → 完成

マスキング

下地処理後、施工部分の外側に合わせ専用テープもしくは同等品を用いて施工表面に隙間のないように貼り付けます。施工部以外材料が付着しないように必要に応じて、テープの周りもマスキングして下さい。その後当社推奨プライマーを塗布して下さい。

材料装着

本体チューブにノズルをセットし、アプリケーションガンに装着して押し出して下さい。

(265ml) シングルカートリッジの場合



キャップを外しノズルをまわし付け、後方の黒いリング部分は外さずに、そのまま1軸カートリッジガンに装着する。
* 市販のコアキングガンにも対応しており使用可能ですが、安価タイプの場合トルクが少なく押し出しがかなり重くなる場合があります。推奨カートリッジガンもありますので販売店にお問い合わせ下さい。

(400ml) ツインカートリッジの場合



キャップロックを外し、栓を抜き方向を合わせノズルを差し込む。外したキャップロックを再度付けノズルをロックし、2軸カートリッジガンに装着する。
* 2軸カートリッジガンは市販されておりませんので、販売店にお問い合わせ下さい。また1軸、2軸ともに電動タイプのガンもあります。
1度に本製品を5本以上施工される場合は電動タイプをお勧めします。施工時の労力がかかり改善されます。

材料塗布

アプリケーションガンの引き金を引き材料を押し出します。ノズル先端から材料が出てきましたら最初の10cmほどの材料は捨ててください。

*** その後のノズル交換時も常に最初の10cm程度は捨てて下さい。適切に材料を混合させるための必須の作業です。**

混合初期の材料を捨てた後の材料を施工面に均等に押し出していきます。

材料を出しながら、別人が素早くヘラで平坦化しながら均一に塗布して下さい。

塗布し終わったら施工部に注意しながら、丁寧に素早くテープを取り外します。

ヘラについた材料はその都度アルコールを使って取り除いておいてください。

3～5分以内で材料塗布、ヘラでのならしをしてください。

*** 3～5分以上経過した場合、ノズル内で硬化がはじまり押し出しにくくなるほか平滑にする前に塗布した状態のまま固まって、ならせなくなります。**

また、施工部以外に材料が付着した場合はすぐにきれいな布もしくはアルコールを使って除去して下さい。

アドバイス

ヘラに材料が多く付着すると、硬化が早くなるうえ施工が難しくなります。ラインの場合は1Mならすごとに、ヘラに付いた材料をアルコールを含ませたウエス等で拭き取りきれいなヘラで施工するようにして下さい。付属で簡易なヘラが付いていますが、本製品を1本以上施工する場合は市販のゴムべら等が施工に向いています。また、ノズル内が硬化し始めますと材料が残っていても施工できなくなります。ノズルを交換して下さい。10分以内に材料を使い切ることをお勧めします。ノズルが不足した場合は販売店にお問い合わせください。

乾燥硬化

硬化時間は温度と湿度により異なります。高温多湿での材料の硬化は非常に早くなります。低温での硬化は時間がかかります。通常は施工後自然乾燥3～5時間で通行が可能です。冬場は硬化時間が2～3倍かかる場合があります。早く硬化させる場合は、ヒートガンもしくは赤外線ヒーターで施工部分を暖めて下さい。**数分で硬化します。**

*** 通行前には必ず材料が硬化しているか否か確認して下さい。**

